

【NPO 法人もの忘れカフェの仲間たちの解散のお知らせとお願い】

NPO 法人もの忘れカフェの仲間たちは、医療法人藤本クリニックと連携して、休職中、あるいは退職直後の若年性認知症の人の“仕事の間”の運営のために、2013年に設立されました。

3人の休職中の若年性認知症の男性の希望で、「ボランティアではなく、わずかでもいいから対価をもらいながら社会に貢献したい」との気持ちを汲んで、猫の玩具の部品作りの内職を請け負うことから始めました。その後、地元の多くの企業から内職仕事を請け負い、医師会の先生方からの仕事の紹介もありました。

また、一方で、他の障害の人や社会と繋がりにくい若者、高齢の軽度認知症者や、地元の老人会、現役の介護者も参加するようになり、10年間、毎週水曜日、約40人から50人の参加者が、県内各地から電車に乗ってやって来るようになりました。“仕事の間”があることで、従来から行なってきた“就労継続支援”もやりやすくなり、診断直後の居場所として、多くの貢献をおこなってきました。

数年前からは、若年性認知症の“就労継続支援”が全国に広がり、滋賀県からの委託事業に関わったことで、仕事の間のような若年性認知症者の居場所が滋賀県内にも増えました。また、診断後も引き続き、それまでの仕事を継続できる期間も長くなり、定年までの就労が概ね可能になることも増えてきました。

さらに、滋賀県下のデイサービスのレベルアップにより、若年性認知症の人の居場所が確保されたことや、クリニックでは、“仕事の間”の代わりに行っている“外来心理教育”やHejの活動が継続されており、診断直後の軽度認知症者や若年性認知症者の居場所となっています。

そこで、この度、一定の役割を全うした“NPO 法人もの忘れカフェの仲間たち”を解散することにいたしました。

皆様方には、大変なご支援を頂戴しましたこと、心よりお礼申し上げます。

つきましては、同封の提案書をご確認いただき、同意書に署名捺印の上、返信封筒にて、2025年3月10日までにお送りいただきますようお願い申し上げます。

2025年2月吉日

NPO 法人 もの忘れカフェの仲間たち

理事長 藤本直規

副理事長 渡邊光春

副理事長 奥村典子

連絡先 守山市梅田町 2-1-204

TEL 077-582-6032